

能代で毎年開催される花火大会は、90 分間の大規模なショーとして、夏の空に約 15,000 発の花火が打ち上げられる。ショーは、梅雨が明けた後、7 月の第 3 土曜日に市内の港湾地域で開催される。花火は、秋田を拠点とする 4 社によって打ち上げられ、最も豪華な花火を打ち上げるのはどの企業かを競い合う。

打ち上げ花火の大半は「スターマイン」で構成されている。それぞれがコンピューター制御による連続花火で、聴覚効果および音楽とコラボレーションして速射連発された花火は、色とりどりのパターンに打ち上がる。これらの花火の中で最大のものは「三尺玉」で、この 91 センチの玉は、開いた時の直径が 1 キロメートルにも達する。能代の花火は、東北地方で唯一この「三尺玉」が打ち上げられる大会である。

港で初めて花火大会が行われたのは 1958 年のことだったが、近くの埠頭に大量の木材が保管されており、安全上の懸念があったことから、1979 年に中止となった。花火大会は、2003 年に「港まつり能代の花火」として再開された。

事前購入チケットの料金は 1,000 円から 4,000 円で、2 名、3 名、4 名用のテーブルがそれぞれ 11,000 円、12,000 円、14,000 円で用意されている。花火大会当日にもチケットが販売されることがあるが、通常はチケットが売り切れとなるため、事前予約が勧められる。事前の宿泊や交通手段の手配をすることも推奨される。